

## イングリッシュ・コッカー・スパニエル

	改正	現行
■沿革	<p><u>コッカー・スパニエルは1873年に英国KCが設立されて間もなくフィールド・スパニエルやスプリンガー・スパニエルとは別犬種として公認された。この犬種の起源は「コッキング・スパニエル（シギ猟用のスパニエル）」であり、犬種名は「ヤマシギを飛び立たせる」ということに由来する。多くのガンドッグ犬種と同様に、今日では作業に用いられているものとショーに用いられているものには差異がある。ショーに用いられているコッカー・スパニエルは、作業に用いられているコッカー・スパニエルよりもがっしりして、重い。</u></p>	<p><u>英国のスパニエルの祖先にかんするもっとも古い記録は、ウェールズ王だったハサエル・ダー（915～948年治世）の法典に「王のスパニエルは1ポンドの価値あり」と記載されているのが最初である。このスパニエルはランド・スパニエルと考えられ、イギリスの多くのスパニエルの祖先犬となった。一説には、フランスのブリタニー・スパニエルを祖とし、これにトイ・スパニエルのブレンハイムを配して作られたともいわれている。</u></p> <p><u>イギリスのウェールズ地方で17世紀頃から主として山シギ猟に用いられるようになったことから、コック（シギ）をとる犬ということでコッカーと呼ばれるようになった。ケネル・クラブにこの犬種名が公認されたのは1883年で、以後国際的にも発展した。アメリカン・コッカー・スパニエルの直接の先祖である。</u></p>
■習性/性格	<p><u>特に臭跡追求時には、</u></p>	<p>臭跡追求時には、</p>
鼻	<p><u>鋭い嗅覚のために十分幅が広い。</u></p>	<p>鋭い嗅覚を持つにふさわしく十分幅が広い。</p>
顎/歯	<p><u>完全な規則正しく欠歯のないシザーズ・バイトである。即ち、上の歯は下の歯に密接に重なっており、顎に垂直に付いている。</u></p>	<p>完全な規則正しいシザーズ・バイトで、顎に対して垂直に生える。</p>
且	<p>但し、<u>毛色がレバー、レバー・ローン、レバー・アンド・ホワイトの場合は、</u></p>	<p>但し、レバー、レバー・ローン、レバー・アンド・ホワイトの場合、</p>
■尾	<p><u>以前は慣習的に断尾されていた。</u></p> <p><u>十分な飾り毛がある。活発に動き、背線よ</u></p>	<p>慣習的に断尾する。</p> <p>尾も被毛が豊富である。<u>歩様時には活き活</u></p>

■四肢

りも高く保持することはないが、決して臆病に見えるほど下に保持することはない。

前足

堅く、パッドは厚い。猫足である。

後足

堅く、パッドは厚い。猫足である。

飛節

飛節の下は短く、十分な推進力を生み出す。

□毛色

単色：ブラック、レッド、ゴールド、レバー（チョコレート）、ブラック・アンド・タン、レバー・アンド・タン。胸にある少量のホワイトを除き、ホワイトは許容されない。

パーティー・カラー：バイカラー、ブラック・アンド・ホワイト、オレンジ・アンド・ホワイト、レバー・アンド・ホワイト、レモン・アンド・ホワイト。これらの毛色では小班があっても、なくてもよい。

トライカラー：ブラック・ホワイト・アンド・タン、レバー・ホワイト・アンド・タン。

ローン：ブルー・ローン、オレンジ・ローン、レモン・ローン、レバー・ローン、ブルー・ローン・アンド・タン、レバー・ローン・アンド・タン。

□体高

牡：約 39 cm～41 cm

牝：約 38 cm～39 cm

□体重

約 13 kg～14.5 kg

きとし、背線よりも高く保持することはない。また、臆病に見えるほど低く保持してはならない。

□足

堅く、厚いパッドで覆われ、猫足である。

中足

中足は短く、十分な推進力を生み出す。

多様である。単色においては、胸以外のホワイトは認められない。

牡：39 cm～41 cm

牝：38 cm～39 cm

約 12.5kg～14.5kg